令和６年度「つなげ！生物多様性」高校生チャレンジシップ開催概要

1. 目　　的

人のいのちと暮らしを支えている生物多様性を保全し、その恵みを将来にわたって享受するためには、生物多様性の恩恵を受ける社会全体で生物多様性の意義を理解し、守るための行動の継続が重要であり、これまでの取組みを持続発展していくためには、次世代の担い手を確保することが不可欠である。

このため、精力的に生物多様性の研究を行う若者に脚光を当て、その活動内容を広く周知し、本県の豊かな生物多様性を次世代に繋ぐ機運醸成を図るとともに、新たな担い手を育成する。

1. 主　　催　愛媛県
2. 参加対象　県内外高校生の団体又は個人
3. 日　　時

[1日目]　令和６年８月24日（土）10：00～15：00（予定）

[2日目]　令和６年８月25日（日）11：00～17：00（予定）

1. 会　　場

[1日目]　 面河山岳博物館、面河渓（上浮穴郡久万高原町若山６５０番地１）

[2日目]　 いよてつ高島屋７階キャッスルルーム（松山市湊町５丁目１－１）

1. 内　　容

[１日目：交流学習会]

・いきものコレクションアプリを利用した フィールドワーク

・生物多様性を考えるワークショップ　等

[２日目：基調講演・研究活動発表等]

・基調講演

講師：「株式会社バイオーム　代表取締役　藤木 庄五郎　氏」

・研究活動発表

県内外高校生による研究活動発表（県外高校生はオンライン併用）

・県内高校生による生物多様性に関するパネル等展示（生物パネル・標本等の展示）

７　募　　集

研究活動発表：県内６校、県外２校程度（発表者は１校生徒３名程度）

パネル等展示：県内１０校程度

交流学習会：３０名程度

※応募多数の場合は研究活動発表、パネル等展示は書類選考等により決定、交流学習会は

参加人数を調整。

８　留意事項

・県外高校生の研究活動発表はオンライン発表も可能。県内高校生は、原則会場で発表。

・「１日目の交流学習会」「２日目の基調講演・研究活動発表」の両日参加、２日目のみ参加も

可能。

・遠隔地から両日参加する場合は、２日目の日程の都合上、松山市近郊での一泊二日を推奨。

　　・研究活動発表校には各賞表彰（最優秀賞、優秀賞、奨励賞、審査員特別賞）。